

令和8年2月25日

令和7年度 学校事務共同実施 実績報告書

拠点校名 龍郷町立龍南中学校

室長学校名 龍郷町立大勝小学校

氏 名 慶田 春彦

学校事務支援室における業務の成果と課題

業 務 名	実施状況	成 果	課 題
諸手当 認定事務	○ 諸手当の認定 ・扶養手当 6 件 ・住居手当 9 件 ・通勤手当 28 件 ・単身赴任手当 4 件 ・児童手当 32 件 - 合 計 79 件 (令和7年1月末時点)	・認定マニュアルや見直したチェック表を使用し、全員で書類審査を行い、不明な点は教育事務所へ確認しながら適正な手当認定ができた。 ・手当認定後については、年1回各学校での書類点検を計画し、認定簿と給与支給内訳書等を照合し、適正な手当支給がなされているか確認できた。	・児童手当の改正に伴いチェック表の見直しをしたが、他の手当についても事例によっては、チェック表の不備が気になることがある。今後適宜見直していく必要がある。 ・手当認定後も手当額の変更や支給要件の喪失がある。支援室内での確認や職員への各種手当てに関する啓発が必要である。
県費事務	○ 受給権調査の実施 ○ 相互点検の実施	・今年度も受給権調査を実施し、各学校職員の手当状況についての実態調査を行うことができた。 ・年4回の自主検査に合わせて実際に対象校へ赴き書類の点検を行った。全員で一つの学校の書類を見ることでより正確な点検を行うことができた。その最たる成果として、今年度龍郷町内で県の監査に当たっている学校があったが、定期的に相互点検を行っていたため、不備なくクリアした。	・受給権調査については、これからも継続して行っていきたいため、毎年十分な説明をした上で管理職と協力して達成していきたい。 ・相互点検チェックリストについては、今後使用する中で修正点や追加事項が発生することが予想される。その都度改良し、より良いものを目指していきたい。
旅費事務	○ 旅費請求書の点検 ○ 『旅費管理ツール』の研修 ○ 旅費関係情報の共有	・月毎に必要なに応じて旅費請求書の点検を行った。相互点検では、各学校の旅費請求書と旅行命令票を一件ずつ点検した。 ・特殊事例(修学旅行等)について、適宜持ち寄り情報共有をはかった。 ・旅費の条例改正(R8.4.1)に伴う、新しい旅行命令票の作成を開始した。	・来年度は旅費の条例改正により、旅費請求方法などが大きく変更になることが予想される。まだ情報が不足しているので、情報収集を行いつつ、様式の変更、職員への周知、旅費請求を行う必要がある。 ・4月当初の赴任旅費や修学旅行、部活動引率等、難しい事例も多いので、支援室内で共有しながら処理していきたい。
町費関係 事務	○ 町費事務マニュアルの 加除修正	・R5年度から運用している町費事務マニュアルの加除修正等を昨年度末に行い、他市町村からの異動者への支援や、さらに町費事務の効率化と支援室全体での認識統一をすることができた。	・次年度以降もマニュアルを活用しながら、他市町村からの異動者や新規採用者、事務職員未配置校の意見を取り入れ、加除修正を行ってよりわかりやすいマニュアルを目指したい。
	○ 物品共同購入見積り	・今年度も共同見積りの活用によって、定価より安く物品を購入することができた。	・業者との連携を図り、今後も円滑に共同見積りが行えるよう検討していきたい。 ・注文後の納品状況に各学校・業者で差があったため、業者と連携を図り、改善に努めたい。
広報活動 事務	○ 広報紙「ひりゅう」の年8回発行 ○ 支援室HPの活用	・年間8回の発行を行い、その時期毎に周知したい内容や職員の感心がある内容を取り入れた。特に、今年度から制度改正となった看護休暇・年末調整・育児休業支援手当金などの紹介も行った。 ・支援室HPに支援室だよりを掲載し、他地区の教職員も閲覧していると聞いている。幅広く情報発信を行うことができ、効果的な広報活動ができた。	・よりタイムリーで有益な情報を提供できるように、職員の興味関心のある記事作成に努めていきたい。 ・旅費制度改正に伴い、支援室HPに掲載している様式集の見直し等を行いたい。
新採臨採 事務支援	○ 事務支援	・電話や共有のLINEを活用し、分からないことをすぐに聞ける環境を整え、効果的な支援に繋げることができた。 ・支援室内で早めに事務処理の内容を確認し、情報共有、質疑の時間を設けて知識の向上に努めることができた。	・事例研修を積み重ねて、より理解を深める支援に努めたい。 ・来年度の改正に伴い、認識の相違なく、処理漏れがないよう全体での確認を密に行っていきたい。
その他 教育支援	○ 配分外バス見積 ○ 職員向けリーフレットの改訂	・見積もりの担当校について、支援室内で情報共有を行い、担当校の見直しを行うことができた。 ・職員向けリーフレットについて、各担当で確認を行った。	・よりスムーズな情報共有の方法の確立や、更なる教育支援に繋がるような役割について検討を続ける。 ・既存のリーフレットの内容の更新や他に必要なテーマがないかの検討などを今後も継続していきたい。